

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院
(旧 名古屋第二赤十字病院)で
診療を受けられる／受けられた患者さんへ
～臨床研究に関する情報公開について～

当院では、下記の研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、カルテ情報等の診療情報を研究目的に利用されることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象とはしませんので、下記の問い合わせ先にご連絡ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。また、研究の詳細についてお知りになりたい場合も、下記の問い合わせ先にご連絡下さい。なお、研究の詳細については、他の研究対象者等の第三者の個人情報や知的財産の保護に支障がない範囲内での開示となります。

研究課題名	腎移植後 1 時間生検における血栓性微少血管症の臨床病理学的検討		
研究実施期間	院長が研究実施を許可した日 ～ (西暦) 2025 年 3 月 31 日		
研究実施診療科	腎臓内科		
研究の倫理審査等	治験・臨床研究審査委員会審査日	2024 年 11 月 8 日	
	院長が研究実施を許可した日	2024 年 11 月 11 日	
対象となる方	(西暦) 2011 年 1 月 1 日 ～ (西暦) 2023 年 12 月 31 日に、当院移植外科において、腎移植および移植後 1 時間腎生検を受けた方		
研究責任者	所属	腎臓内科	氏名 井口大旗
研究の意義・目的	血栓性微少血管症(TMA)は微少な血管に血栓が生じ、血小板減少や腎機能障害を引き起こす重篤な疾患で、腎移植後に生じやすいことが知られています。特に腎移植後早期の TMA は重症化しやすく、移植腎損失や時に命を脅かす状態につながるため、早期の診断と適切な治療が必要です。当院では腎移植後 1 時間目に移植腎生検を施行しており、その病理像において、稀に TMA を示唆する所見を認めることがありますが、その意義は明らかになっていません。本研究は腎移植 1 時間目の腎組織で TMA を認めた患者さんにおいて、その臨床背景や病理所見を解析し、その原因や臨床経過、病理所見との関連性を明らかにすることを目的とします。		
研究の方法	対象となる方の臨床情報について、診療録を振り返って収集し、検討します。		
研究に使用するもの	診療録から得られる情報を、個人を直ちに特定できるような情報とは切り離れた状態で使用します。(年齢、体重、性別等の基本情報、投薬など治療内容、採血結果、腎病理所見等)		
結果の公表	関連学会や学術論文等で発表予定です。対象者の氏名等の、直ちに個人を特定できる情報を公表することはありません。		
個人情報の保護	対象者の方の情報の使用に際しては、氏名や住所等といった個人を直ちに特定できるような情報とは切り離し、対象者個人とは無関係の番		

	号を付けた上で、研究責任者の責任の下、廃棄するまで厳重に保管・管理します。
研究の資金源	本研究は特に資金を必要とせず、外部からの資金提供もありません。
利益相反	本研究の実施にあたり、研究の透明性や公正性を損なうような利益相反はありません。
情報等の二次利用	本研究で得られた情報は、本研究の目的以外には使用しません。
問い合わせ先	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 腎臓内科 井口 大旗 電話 052-832-1121 (代表)